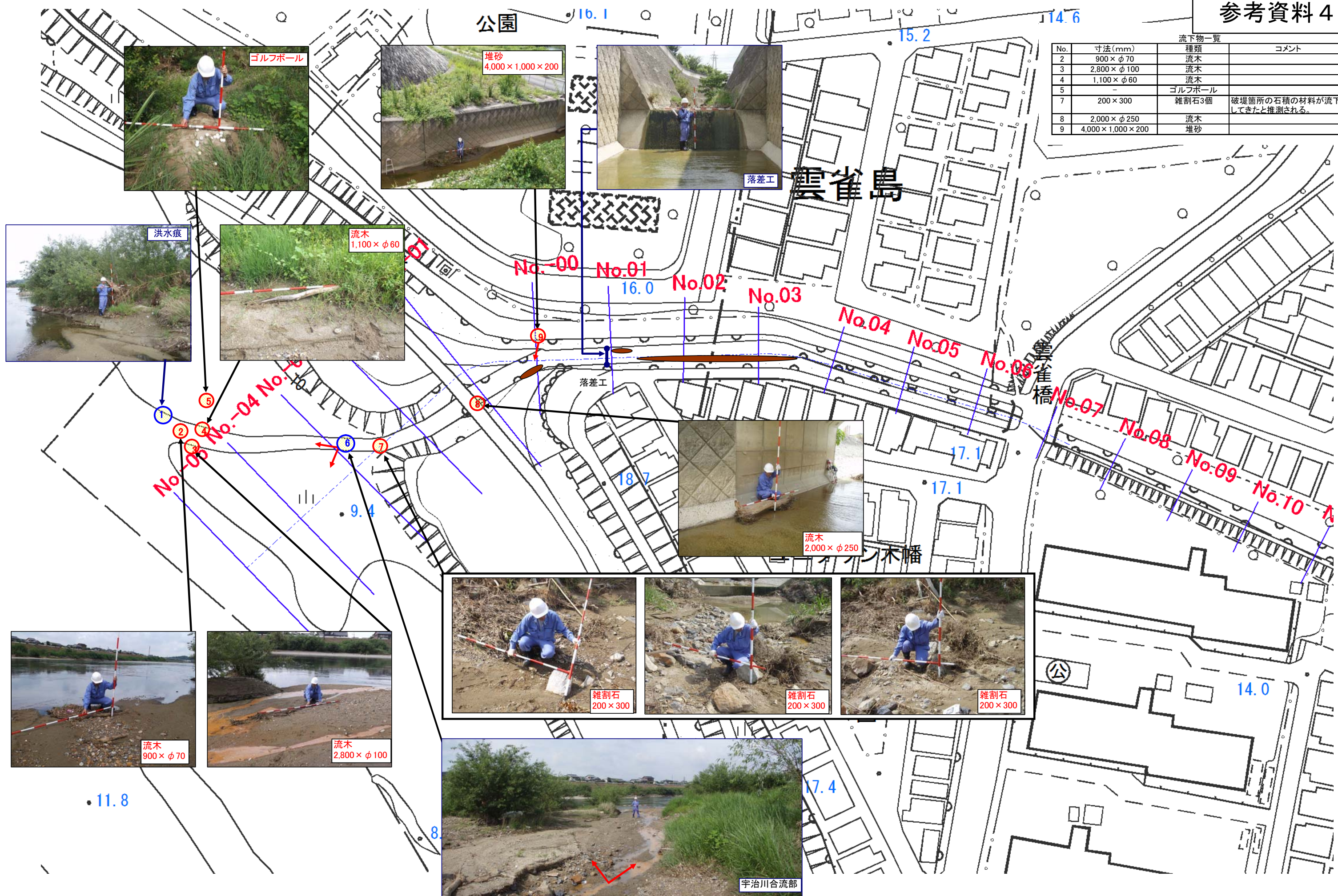
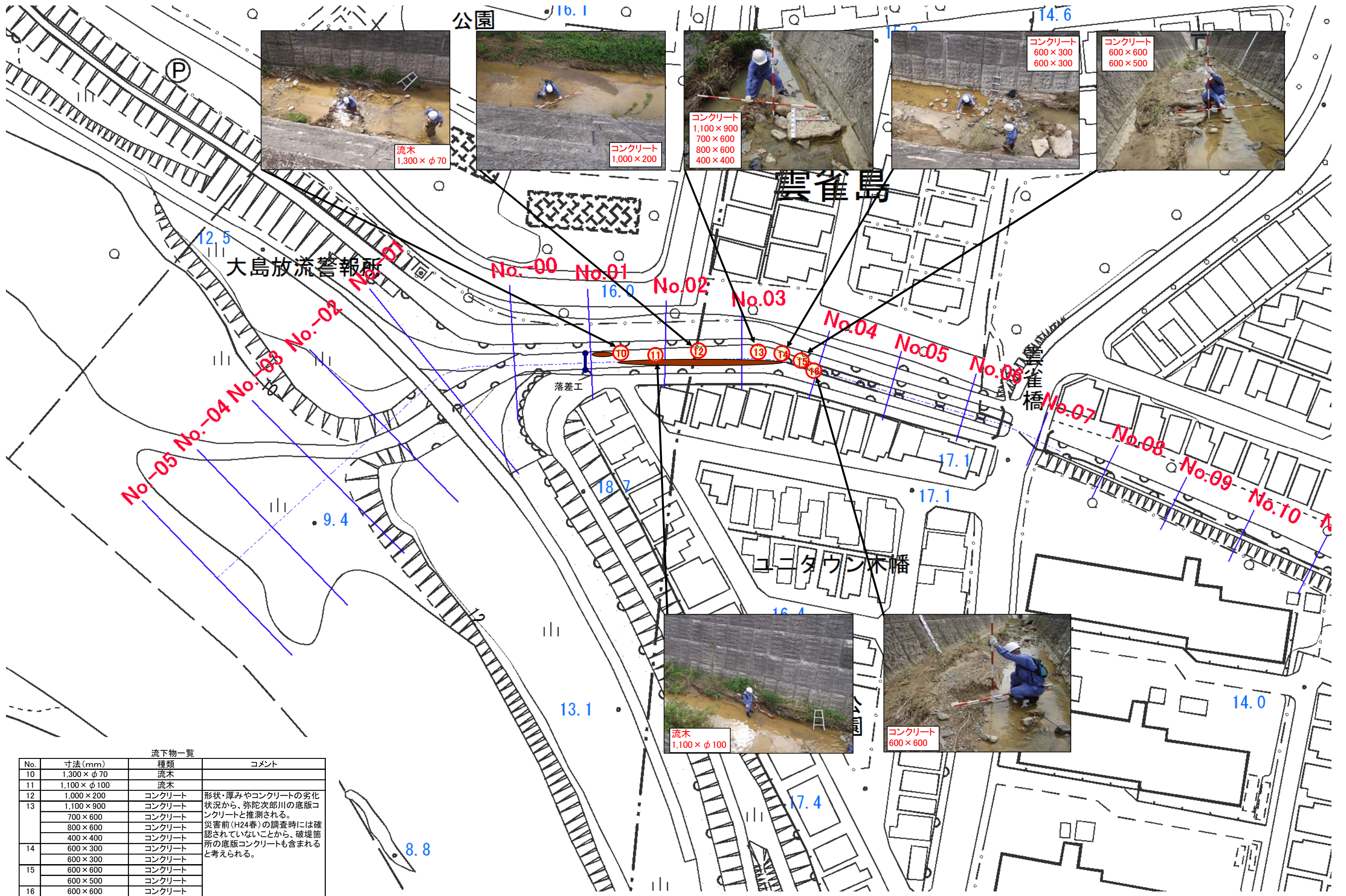


流下物一覧			
No.	寸法(mm)	種類	コメント
2	900 × φ70	流木	
3	2,800 × φ100	流木	
4	1,100 × φ60	流木	
5	-	ゴルフボール	
7	200 × 300	雑割石3個	破堤箇所の石積の材料が流下してきたと推測される。
8	2,000 × φ250	流木	
9	4,000 × 1,000 × 200	堆砂	

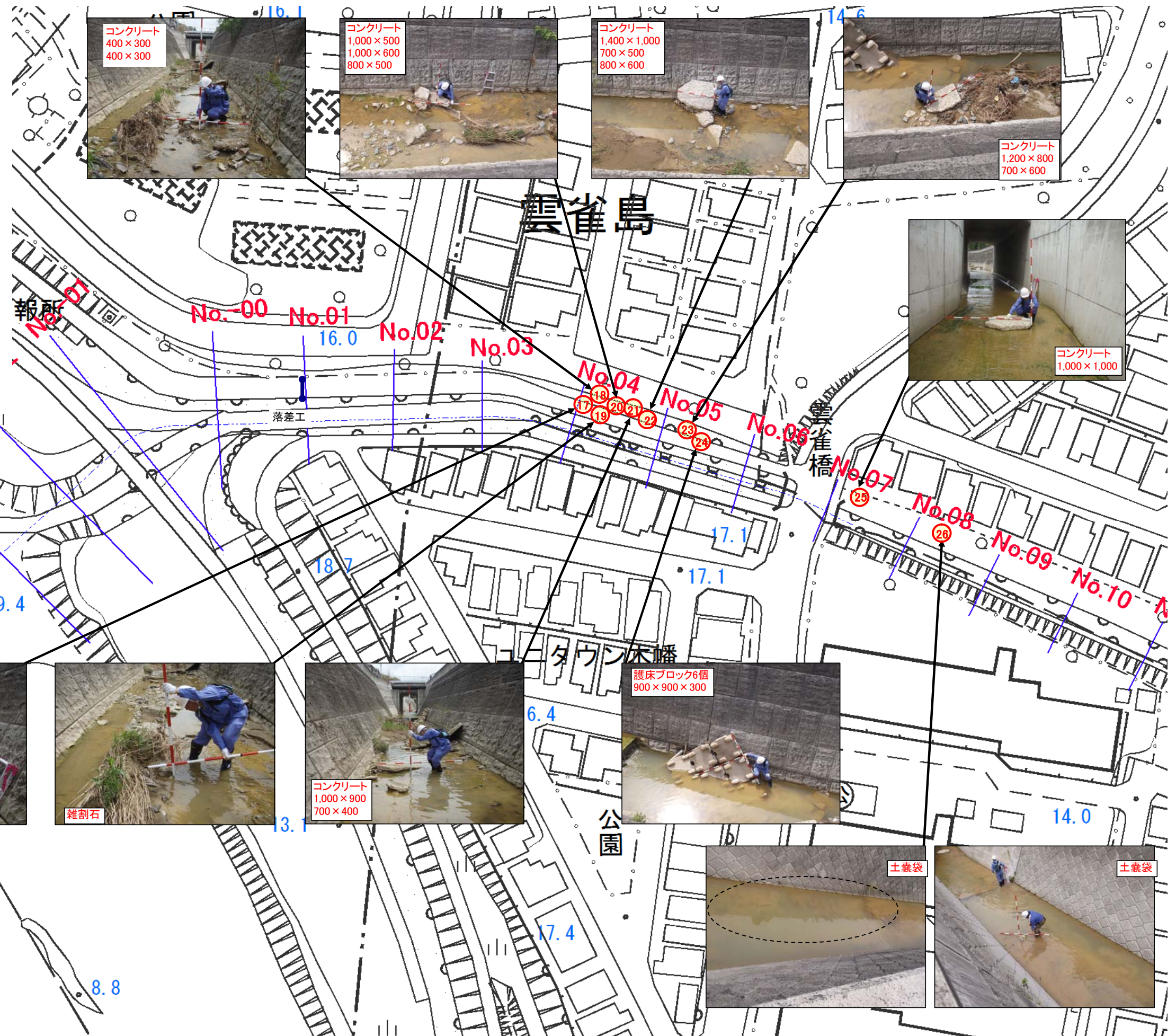




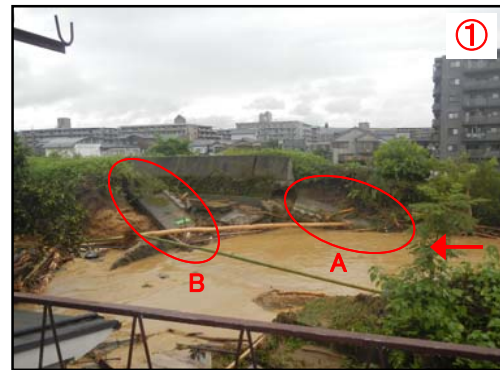
流下物一覧

No.	寸法 (mm)	種類	コメント
10	1,300 × φ70	流木	
11	1,100 × φ100	流木	
12	1,000 × 200	コンクリート	形状・厚みやコンクリートの劣化状況から、弥陀次郎川の底版コンクリートと推測される。災害前(H24春)の調査時には確認されていないことから、破堤箇所の底版コンクリートも含まれると考えられる。
13	1,100 × 900	コンクリート	
	700 × 600	コンクリート	
	800 × 600	コンクリート	
	400 × 400	コンクリート	
	400 × 400	コンクリート	
14	600 × 300	コンクリート	
	600 × 300	コンクリート	
15	600 × 600	コンクリート	
	600 × 600	コンクリート	
16	600 × 600	コンクリート	

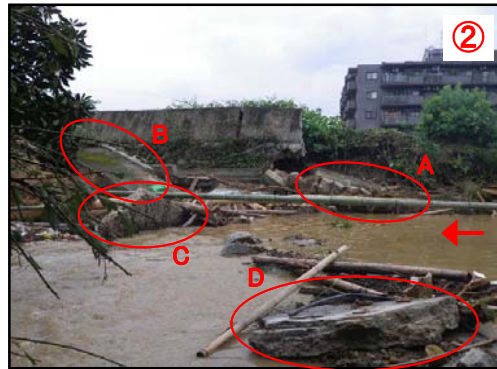
流下物一覧			
No.	寸法 (mm)	種類	コメント
17	500 × 400	コンクリート	形状・厚みやコンクリートの劣化状況から、弥陀次郎川の底版コンクリートと推測される。災害前 (H24春) の調査時には確認されていないことから、破堤箇所底版コンクリートも含まれると考えられる。
18	400 × 300	コンクリート	
	400 × 300	コンクリート	
19	-	雑割石	破堤箇所の石積の材料が流下してきたと推測される。
20	1,000 × 500	コンクリート	形状・厚みやコンクリートの劣化状況から、弥陀次郎川の底版コンクリートと推測される。災害前 (H24春) の調査時には確認されていないことから、破堤箇所底版コンクリートも含まれると考えられる。
	1,000 × 600	コンクリート	
	800 × 500	コンクリート	
	1,000 × 900	コンクリート	
21	700 × 400	コンクリート	
22	1,400 × 1,000	コンクリート	
	700 × 500	コンクリート	
	800 × 600	コンクリート	
23	1,200 × 800	コンクリート	
	700 × 600	コンクリート	
24	900 × 900 × 300	護床ブロック6個	雲雀橋近傍の護床ブロックが移動したものと考えられる。
25	1,000 × 1,000	コンクリート	形状・厚みやコンクリートの劣化状況から、弥陀次郎川の底版コンクリートと推測される。災害前 (H24春) の調査時には確認されていないことから、破堤箇所底版コンクリートも含まれると考えられる。
26	-	土嚢袋	



弥陀次郎川 被災直後の破堤周辺流下物復元 平面図



H24.8.14撮影



H24.8.14撮影



H24.8.14撮影



A 右岸護岸 石積+嵩上げコンクリート

B 左岸護岸 石積+嵩上げコンクリート

C 底版コンクリート

E 底版コンクリート

D 底版コンクリート

KBM.2 H=100.428

KBM.1 H=100.000



H24.8.17撮影



H24.8.20撮影



H24.8.14撮影